

令和七年度 入学式（昼間定時制）

式 辞

うらかな春の光の中、色とりどりの花が咲き競う季節を迎えた今日の良き日に、令和七年度 名古屋市立中央高等学校昼間定時制の入学式を執り行うことができますことは、私ども教職員にとってこの上ない喜びであり、ご多用の中、多くの保護者の皆様のご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、百六十一名の新入生の皆さん、入学おめでとう。私たちは、皆さんの入学を、心から歓迎し、お祝い申し上げます。今、皆さんは、これから始まる中央高校での生活に期待と不安が入り交じった緊張感で一杯なのではないでしょうか。しかし、これは皆さん自身を新しい環境に置いて、成長していく一つの転換点だと思います。思い切って一步を踏み出した皆さんに敬意を表します。

中央高校は、夜間定時制課程の高等学校として、昭和二十三年に設立され、以来、「真理と正義を尊び、自主的精神に満ちた、心豊かな

人間の育成」を教育目標に掲げ、その理念に基づいた教育活動を実践してまいりました。

昼間定時制は、平成十一年に開設され、生徒の皆さんが通いやすい学校とするため、制服、学級・学年を廃し、授業時間帯も午前の部と午後の部の二部制としました。また、生徒一人ひとりの主体性を重んじ、それぞれの個性が発揮できるよう、単位制としました。今年で創立二十七年目を迎え、既に二千名ほどの卒業生を、送り出してまいりました。

新入生の皆さんに、これから始まる高校生活の中で、意識してほしいことを三つ伝えたいと思います。

一つ目は、「一歩前に踏み出す」ということです。

皆さんは、これまでの自分と違った、新しい自分を発見する機会が平等にあたえられています。少しの勇氣を持って自分を変えてみる、小さな一歩でもいいので新しい世界に踏み出してみる、そんなチャレンジをして欲しいと思います。私たち教職員も、皆さんとともに新しいことに取り組み、一歩前に踏み出したいと思っています。

二つ目は、「笑顔で過ごす」ということです。

笑顔の人と接すると、自然と自分もうれしい気持ちになります。難しい顔をしているより、にこやかに笑顔で接する方がきっと周りの人は幸せを感じます。笑顔はひとに伝染するとも言われます。ぜひ、「笑顔で過ごす」を実践し、笑顔あふれる楽しい学校にしていきましょう。

最後、三つ目は、「他者を尊重しよう」ということです。

私たち一人ひとりは、繊細な心を持つかけがえのない存在です。日々の生活においてはいろいろなことが起きます。それを前提として、人と接するときには、相手の人格や人権を尊重し、誠実に接することが大切です。一人ひとりには心があり、様々な思いを持って日々生きています。そして、人は一人では生きていきません。皆さんには自分自身のことはもちろん大切にしたいのですが、他者のことも同じように大切にできる人であってほしいと願っています。

最後に、本日も臨席賜りました保護者の皆様に一言ご挨拶申し上げます。お子様のご入学、誠におめでとうございます。

子どもは、家庭で育ち、学校で学び、社会とのかかわりの中で伸びると言われています。お子様の成長には、学校教育と家庭教育との連携が

不可欠でございます。私ども教職員一同は、お預かりしたお子様が有意義に高校生活を送ってもらえるよう、お子様の高校生活の伴走者として、全力を挙げて温かくきめ細やかな指導に努めてまいります。ご家庭におかれましても、お子様の成長を温かく見守っていただけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ご出席の皆様とともに、新入生の皆さんの前途を祝して、私の式辞といたします。

令和七年四月七日

名古屋市立中央高等学校長 浅井 哲也